



# INDONESIA MISSION



発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」

HP：<https://indonesiamission.info/>



スルートウンバワン・グロリア寮Ⅱの玄関  
寮生の全体写真

インドネシア・カリマンタン宣教のために、継続してお祈りご支援くださり心より感謝いたします。私がインドネシア宣教17年間で訓練された事の一つは「宙ぶらりんな状態」への忍耐だったと思います。言い換えると「すっきり解決しない状態に持ちこたえつつ、進んでいく」という事でしょうか。

上の写真はスルートウンバワン・グロリア寮Ⅱの中学生達です。表紙の写真としては背景の寮が傷んでだいぶ見苦しいです。実はこの寮のすぐ前に西カリマンタン州の道路が通る事になり、寮は移転する事になっていました。しかし、なかなか話が進まなかった上についてはコロナでそのプロジェクトは頓挫。いつかは再開されるでしょうが、その「いつ」はわかりません。そういう中で子どもたちの環境を考え、今回天井、扉、壁など改修する事になりました。中途半端な感じはしつつも、今は工事して進むしかないようです。こういう事がきっと「宣教の現実」なのかな、とも思います。続けてお祈りをお願い致します。



KBIの玄関にて

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

# スルートウンバワン地域 ボルネオ保育園の働き

代表 高橋めぐみ

6月30日にグンジュマ村のボルネオ保育園の開所式を行いました。アンジュンガンのATI神学校からはディナール先生他スタッフ5名がはるばる来てくださり、準備から手伝ってくれました。ディナール先生は、式当日はYPPII代表として司式しましたが、前日はお祝いの昼食のためのニワトリを何羽も絞めてくれたそうです。

グロリア寮Ⅱの子どもたちの村の宗教は名目上のカトリックで、中身はアニミズムです。村人たちの生活は今もまじないと深くかかっています。このボルネオ保育所で幼い魂に真の神様への信仰が育っていくことを切に願います。どうぞお祈りをお願いいたします。

(祈り課題)

1. 保育所の運営と人材のために。現在ネリと実習生ルプスとジュリアンティ(辞めずに続けています)の3名で、30名余りの子どもたちを教えています。
2. 2年後の政府認可を目指して運営していけるように。グンジュマ村立として地域の人々を巻き込んでいけるように。
3. 園費は毎月25000ルピア(約250円)保護者より集めています。また、制服なども親の負担です。村の人たちの経済が祝福されるように
4. 教材、備品(机、イス、メディア等)の必要のために
5. 保育園の建物のために。今は村の公民館を借りています。
6. 子どもたちが、御言葉を通してイエス様を信じていくように。



開所式の様子



式で入場を待つ子どもたち

Pemangkat

## カリマンタン島西部地図

Singawang ブンカヤン 約140km

約100km

約250km

# プニティ・アナスタシス教会 代表 高橋めぐみ

大雨のたびに会堂が床上浸水していましたが、軍人の教会員を中心に床あげ工事をしました。仕上げにタイルも貼って教会は綺麗になりました。

フレンキー牧師からの祈りの課題は以下の通りです。

1. 今日までの神様の助けに感謝
2. 教会員の質的量的成長のために
3. 教会が正式に教会として認可されるように(地域と政府から)
4. GMII教団の中で自立教会となるプロセスのために。

### 献身者デシの現在

2年前にATI神学校を卒業したデシは現在サンガオ県の華人系教会GEPEMBRI教団サンガオ教会でお礼奉公中です。「お祈り感謝します！」とのこと。



デシ



水没した会堂の床



工事完了後の床

アンジュンガン  
プニティ

## エンティコン・グロリア寮 I の近況 インドネシア・アミッション委員 東聖士

エンティコンでは、7月から始まった新学期には子どもたちが戻ってき始めました。現在、男の子21人、女の子22人合計43人の中高生が寮で生活しています。久しぶりに活気ある寮が戻ってきて舎監のデルフィも喜んでます。寮に戻って再会した子どもたちは、体調も守られていて、生き生きと過ごしているそうです。普段は食事は各自作って済ませますが、歓迎の意を込めて全体で食事をしたりもしています。



全体の食事風景

エンティコンも例に漏れることなく、コロナの影響を受けました。しかし現在は、最も警戒していたころと比べると格段に制限が緩和されています。マスクをする人も少なく、生活上の制限はほぼない状態だそうです。

通路横の土砂崩れのための工事は、無事に終了しました。現在雨が降っても問題ないそうです。ただ、今はまだ乾季ですので、それほど雨が降りません。10月頃から雨季に移り変わり始め、12月頃に本格的な雨季を迎え、雨が降り出します。斜面と工事した場所が、雨季の水量を持ちこたえられるのを確認するまで安心は出来ません。ぜひ斜面が、雨季を無事に乗り越えられるようにお祈りください。

斜面と工事した場所が、雨季の水量を持ちこたえられるのを確認するまで安心は出来ません。ぜひ斜面が、雨季を無事に乗り越えられるようにお祈りください。



朝の祈り会



## S市・ミッションハウス

代表 高橋めぐみ



完成したミッションハウスの正面

●部族宣教のためのミッションハウスは今年3月に完成しました。お祈りと支援を感謝いたします。以下はタヨンナ氏よりのお便りです。

インドネシアミッションのサポーターの皆さんへ。サポーターの皆さんにとっても感謝しています。祈りで私たちを支えるために沢山の時間を捧げて忠実でいてくださり感謝しています、神様に捧げられたすべての祈りはイエス様が聞いて下さり、神様のタイミングで応えて下さると強く信じています。

“そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。また、私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるように、祈ってください。”(エペソ人への手紙 6章 18b~19節)

私たちが皆さんがさらに神様に忠実であり、家族、健康、仕事が祝福されるように祈りで支え続けます。さらに、日本のお一人お一人や家族が勝利しイエス様の弟子となることを祈ります。

どうぞ私たちのためにお祈りください

- 1、●族に働く悪の力を打ち砕くよう神の力が働かれ続けるように
- 2、●族の人々がもっともっと心を開きますように
- 3、●族に届いていくために良い戦略と知恵が与えられるように
- 4、●族宣教チームが1つになり共に仕えることができるように
- 5、●族宣教にそれぞれの教会が開かれて、共にこの働きに加えられるいきますように
- 6、働きの為、子ども達の教育の為の経済が満たされるように
- 7、私たちの健康と働きを神様が守り祝福されるように

# 視察旅行の恵みと感謝

八尾福音教会  
田中潤師

今年の初めに大田裕作師より「6月にインドネシアに視察に行こう！」と誘っていただいた時、二つ返事ですぐに「行きます！」と答えました。しかしその時は正直「コロナの影響もあるし本当に行けるのかな・・・」と思っていました。その時点では出入国するにあたり様々な書類の準備が必要で、現地での隔離やPCR検査が必要など、ややこしい事があまりに多かったからです。

ATI神学校で(最前列中央左側が田中師)



しかし不思議なことにそれから毎月、何かしらの入国制限が緩和されていき、ついに出発予定日ひと月前には一定の条件を満たせば現地での隔離やPCR検査も不要となりました。そのような事もあり「これは主の導きだ！」と確信を持って私は現地に視察に行く事ができました。今回のインドネシアへの訪問は、関西聖書学院の学生時代に研修旅行で訪れて以来8年ぶりの訪問でした。8年前、私はインドネシアの地で宣教の召命を受け、「福音を伝えるために、私をどこにでもお遣わしてください！」と初めて祈ったのです。神学校を卒業後、宣教師を志す妻と結婚に導かれ、長年M国への派遣を目指してきました。しかしこの数年でM国の情勢が悪化したため、私たち夫婦は行き先を変更するという決断に至りました。ですから「私をどこにでもお遣わしてください！」と祈った地に、今度は宣教のための視察旅行という形で再び訪れることになったのは、神様の不思議な導きを感じざるを得ませんでした。

プニティ・アナスタシス教会で(中央が田中師)



今回訪れた主な場所はジャカルタのJCF(ジャカルタ日本語キリスト教会)、西カリマンタンではポンティアナックに、インドネシアミッションではおなじみのATI神学校やプニティ・アナスタシス教会を訪問しました。さらにS市では未伝部族宣教の可能性を探るというような旅でした。

インドネシア行き、この国にもまだまだ宣教の必要があるという事を肌で感じる事ができ、特に未伝部族への宣教は多くの必要と課題があるという事がわかりました。国内で未伝部族宣教の働きに仕えておられるN師は「インドネシアの人口が約2億8千万人いたとして、その中で新生したクリスチャンが1000万人いて、献身者が10分の1の100万人いたとしても、未伝部族の宣教を志している者は、1000人もいないかもしれない。」と言われました。インドネシアは、日本よりクリスチャンが多く、教会にも力がある国ですが、未だ福音が宣べ伝えられていない未伝部族は200以上あると言われています。それは実に全人口の60%にあたるそうです。(※民族の中のクリスチャン人口の割合が2%以下、あるいは教会未設置という基準で見ると)

S市のミッションハウスで(中央右側が田中師)



また未伝宣教が前進しなかった理由として、西欧の文化的影響を受けた教会が異なるイスラム文化や少数部族特有の文化に対し、尊重しながら宣教する事が出来なかったことを一つの要因としてあげておられました。私たちは天から地へと異文化の壁を越えて下って来られたイエスの謙遜の姿に習い、相手の文化を尊重し福音のみをシンプルに伝える必要性を学びました。これらの話を聞きながら私は不思議とワクワクした熱い気持ちが内側から溢れてきて、「主の御心でしたら私たち家族をこの国にお遣わしてください！そしてこの国の必要な働きのためにお願いください！」という思いになりました。

S市のインマヌエル学校で



今回は安海靖郎師をはじめ、多くの先人の宣教師の足跡を辿り、そのお働きの実を見させて頂く旅となりました。その多くの実を見ながら、神様を賛美せずにはいられませんでした。私はこの先人の宣教師の方々から宣教のバトンを引き継いで走らせていただける幸いを心から感謝しながら帰国しました。いつでも主の御声に従い、先人の宣教師たちによって多くの実が結ばれてきたこのインドネシア宣教を、私も宣教の恩恵を受けた一人として携わっていきたくと切に願わされております。

## － 祈りのリクエスト －

### ATI神学校

- ◎神学生、スタッフの祝福のために。
- ◎神学校の経済が祝福されるように。
- ◎ATIスタッフ、学生によるオンラインデボーション（YouTube 毎日配信）が祝福されるように。

### 3つの学生寮共通

- ◎寮生たちの祝福のために。
- ◎舎監達に知恵が与えられるように。寮生たちの霊的指導のために。
- ◎宣教団体のYPPH西カリマンタン支部と良いコミュニケーションを取りながらともに宣教の働きを進めていけるように。
- ◎寮出身者たちの働き（看護師、小学校教師、大学教師、保育所の働き、村長、村の長老《礼拝を導きます》、など）を通して奥地スンクン地域のアニミズム信仰が根底から変えられていくように。

### エンティコン・グロリア寮I

- ◎新学期になり、寮生は現在43名です。乾期に水不足にならないように。



グロリア寮 I 食事の様子  
(QRコードで視聴可能です)

バナナの葉をお皿にして、  
タニシ料理を食べてます  
インドネシアでは日常です



タニシ料理を調理中です  
(QRコードで視聴可能です)

### スルートゥンバワン・グロリア寮II

- ◎扉、屋根、壁など改修工事をスタートしました。子ども達が良い環境で生活できるように。
- ◎舎監ヘルマヌスの健康のために。最近体調を崩しがちです。

### ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎ベラカ寮が地域の必要に応える寮として運営していけるように。
- ◎舎監チームのリーダーであるギテオンに知恵が与えられるように。

### ボルネオ保育園

- ◎責任者のネリに知恵と忍耐が与えられるように。
- ◎子ども達がイエスキリストを主として信じるように。
- ◎2年後の政府認可に向けて一歩一歩進んでいけるように。

### 奨学生

- ◎ジャワ島で修士課程に進学し、大学教師を目指すスインのために。
- ◎バダットラマ村に診療所を開設する夢をもつドノの健康と学びのために。

### プニティ・アナスタシス教会

- ◎フレンキー牧師の牧会の祝福のために。
- ◎教会が政府と地域に正式に認可されるように。手続きがスムーズに進むように。

### 未伝●族への働き

- ◎ミッションハウスが●族宣教に用いられるように。
- ◎タヨナ氏の毎週火曜日の断食祈禱会の祝福のために。地域の教会が●族宣教に重荷をもち共に祈っているように。
- ◎ハリジョ氏の活動のために。●族の母、姉、そして親族の救いのために。月1回ほど出身村を訪問しています。3人の子どもたちの健康が守られるように。

### その他

- ◎現地スタッフとの良いコミュニケーションのために。
- ◎年末に予定しているインドネシア訪問を主が導き祝福してください。

## 胡椒奨学金プロジェクト

八尾福音教会・曙チャペル  
伊藤勝利

今年の4月のJEC春期聖会から再開しましたが、その後も各教会から継続して支援してくださっていることを、心から感謝いたします。現在支援している3名のうち、2名はさらに進級、進学して、学びを継続したいとの希望を持っています(1名は終了し、他の1名を支援予定)。インドネシアでは学びたくとも、諸事情で学校に通うことの出来ない子どもがたくさんいます。

経済面の問題は大きな一つです。そのような学生たちに将来への夢と希望を届けたいとの思いで、継続して窓口を開きたいと思っています。集められた奨学金を出来る限り学生に用いたいと考え、経費を最小限に抑えるため、郵送などではなく、牧師会を通して献金と胡椒の受け渡しをお願いしています。ご協力をよろしくお願いします。問い合わせは窓口までお願いします。

申込窓口:八尾福音教会・曙チャペル 伊藤勝利 メールアドレス:itokt@nifty.com



アンドリカ

今年6月に高校を卒業し、ポンティアナックのウィディアダルマ大学に進学しました。



ジャミラ

6月に高校を卒業して、エンティコンのレストランで働き始めました。支援ありがとうございました。



ムンキン

ATI神学校の5年生です。7月から1年間伝道実習でスルカム・ベテスタ看護学校の寮で奉仕しています。